

2007年度(平成19年9月期) 第55期 中間決算説明会

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

Tokyo Cathode Laboratory Co., Ltd.

©Copyright 2007 TCL All rights reserved

Contents

1. 【連結】中間業績比較と2007年度予想
2. 【連結】売上推移と2007年度見通し
3. セグメント別比較
4. セグメント別年度推移

1. 【連結】中間業績比較と2007年度予想

【連結】 区 分	平成18年9月期 【実績】		平成19年9月期 【実績】		対前年比	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	増減(百万円)	増減率(%)
売上高	6,606	100.0	7,336	100.0	730	11.1
売上原価	4,479	67.8	5,230	71.3	751	16.8
売上総利益	2,127	32.2	2,106	28.7	△ 21	△ 1.0
販売費及び一般管理費	1,604	24.3	1,782	24.3	177	11.0
営業利益	522	7.9	323	4.4	△ 198	△ 38.0
経常利益	492	7.5	339	4.6	△ 152	△ 31.0
当期純利益	167	2.5	53	0.7	△ 114	△ 68.0

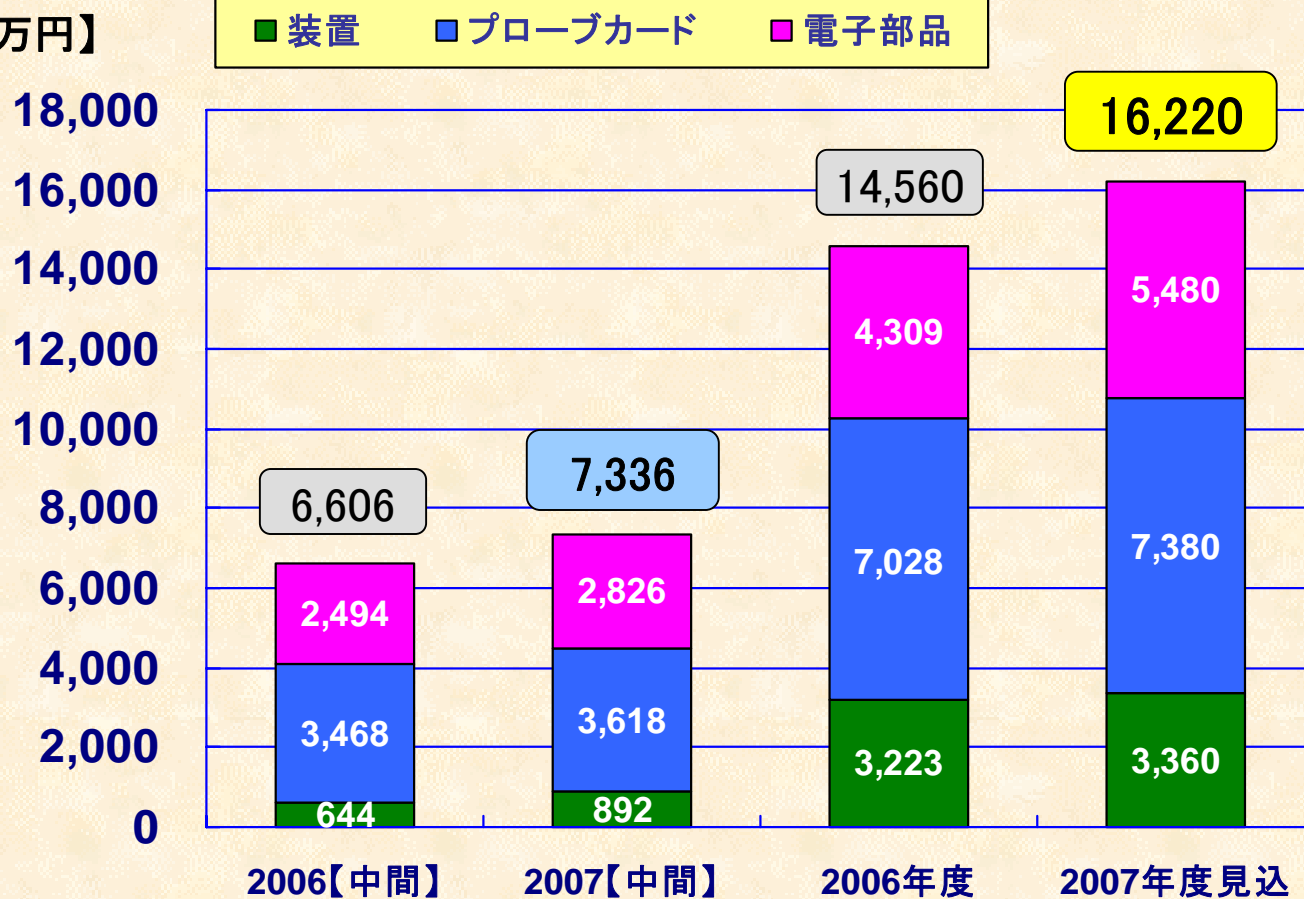
【平成20年3月期】<(通期)業績予想>

(単位:百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16,220	1,035	1,035	405

2. 【連結】売上推移と2007年度見通し

【百万円】



※ 過年度(前中間期、前期)セグメントは、2007年度区分による主要製品の組替を行っております。

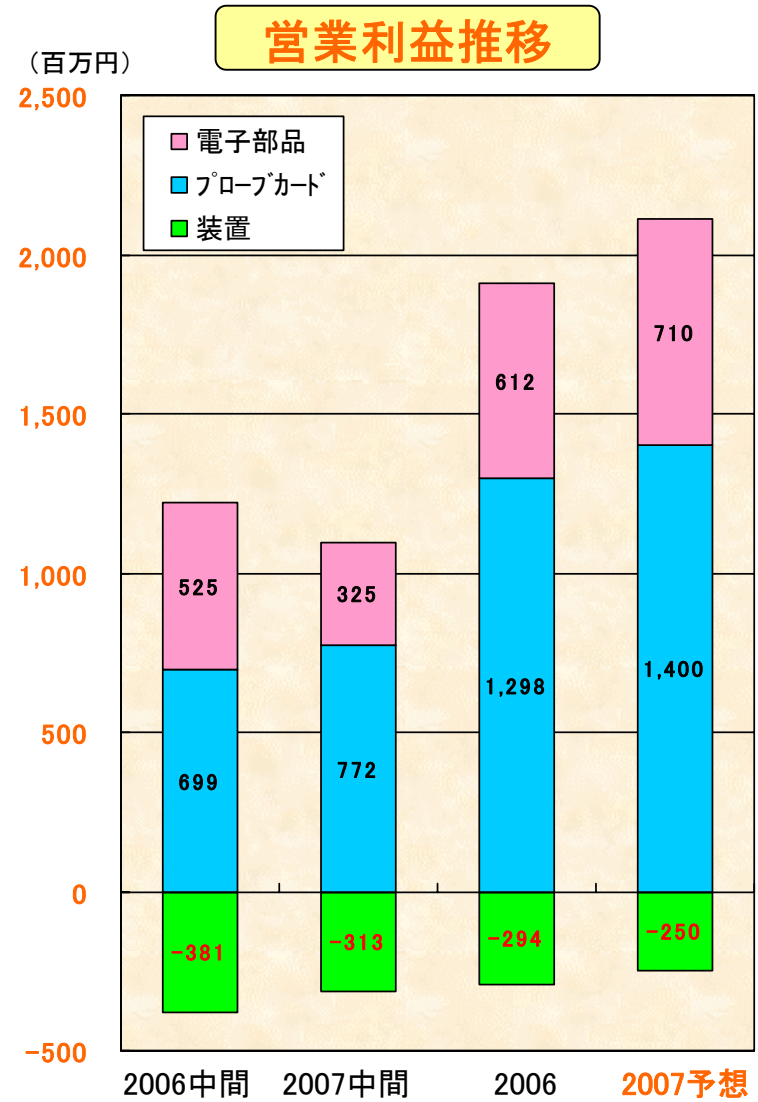
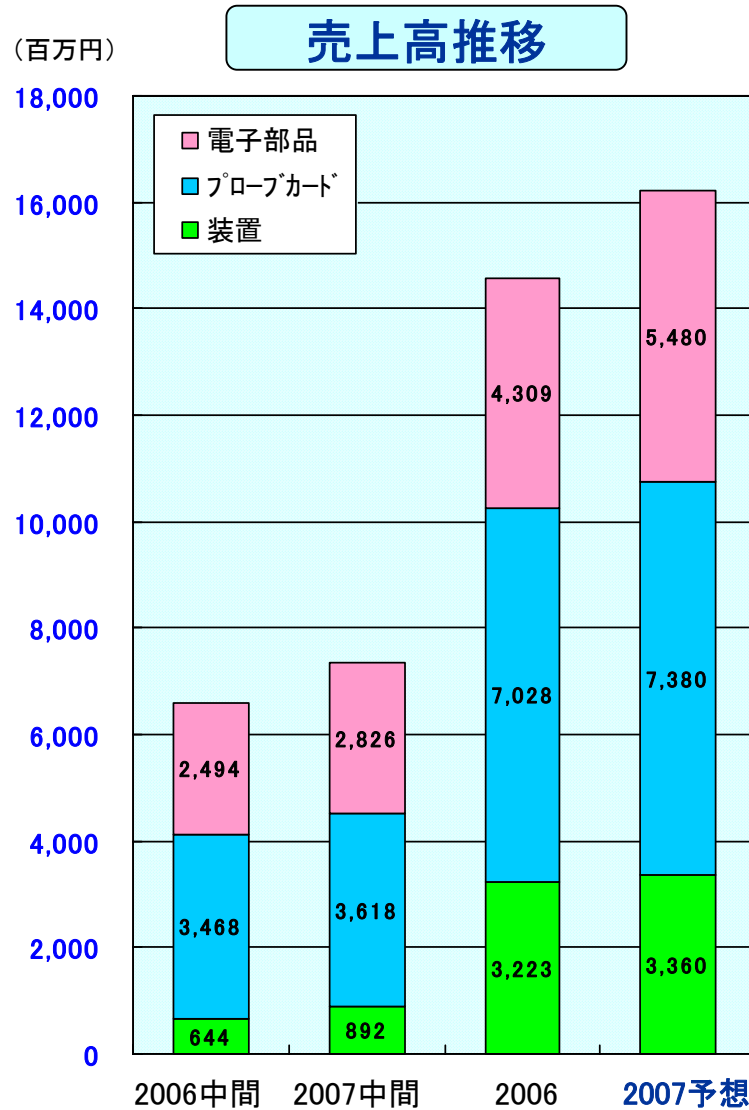
3. 【連結】セグメント別比較

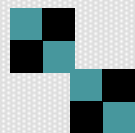
(単位:百万円、%)

セグメント		平成18年9月期	平成19年9月期		平成19年3月期	平成20年3月期	
		実績	実績	前中間比	実績	<予想>	前年比
電子部品事業	売上高	2,494	2,826	113.3%	4,309	5,480	127.2%
	営業損益	525	325	61.9%	612	710	116.0%
	利益率	21.1%	11.5%		14.2%	13.0%	
プローブカード事業	売上高	3,468	3,618	104.3%	7,028	7,380	105.0%
	営業損益	699	772	110.4%	1,298	1,400	107.8%
	利益率	20.2%	21.3%		18.5%	19.0%	
装置事業	売上高	644	892	138.3%	3,223	3,360	104.2%
	営業損益	-381	-313	—	-294	-250	—
	利益率	-59.2%	-35.1%		-9.1%	-7.4%	
(小計)	売上高	6,606	7,336	111.1%	14,560	16,220	111.4%
	営業損益	843	784	93.0%	1,616	1,860	115.1%
消去又は全社	売上高	—	—		—	—	
	営業損益	-321	-460		-648	-825	
合計	売上高	6,606	7,336	111.1%	14,560	16,220	111.4%
	営業損益	522	323	62.0%	968	1,035	106.9%
	利益率	7.9%	4.4%		6.6%	6.4%	

※ 過年度(前中間期、前期)セグメントは、2007年度区分による主要製品の組替を行っております。

4. 【連結】セグメント別年度推移





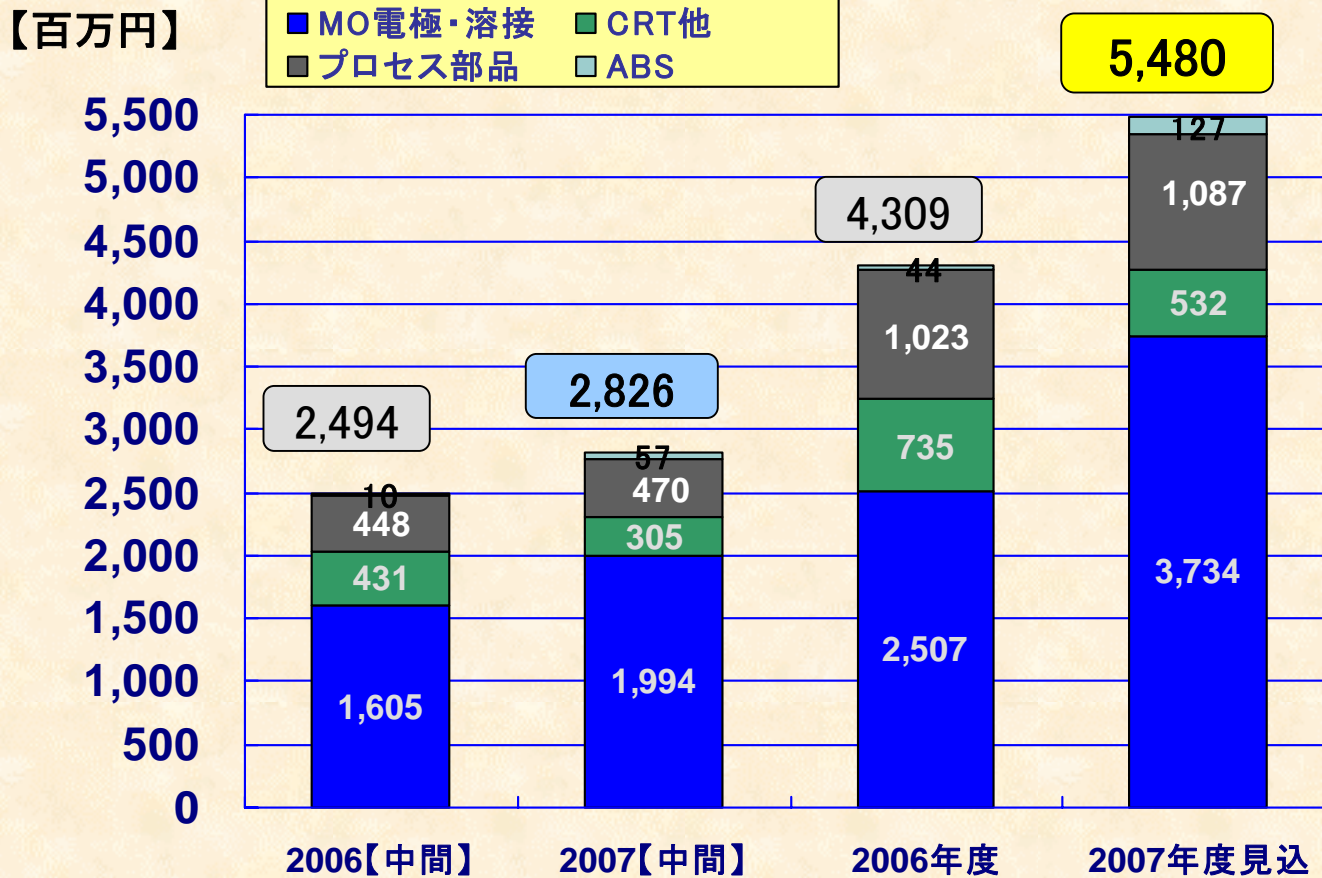
2007年度 中間決算報告 電子部品事業

Contents

1. 【連結】売上推移と2007年度見通し
2. Mo CUP(組立品含む)数量実績・予測

1. 【連結】売上推移と2007年度見通し

電子部品事業



※ 過年度(前中間期、前期)セグメントは、2007年度区分による主要製品の組替を行っております。

2. Mo CUP(組立品含む)数量実績・予測

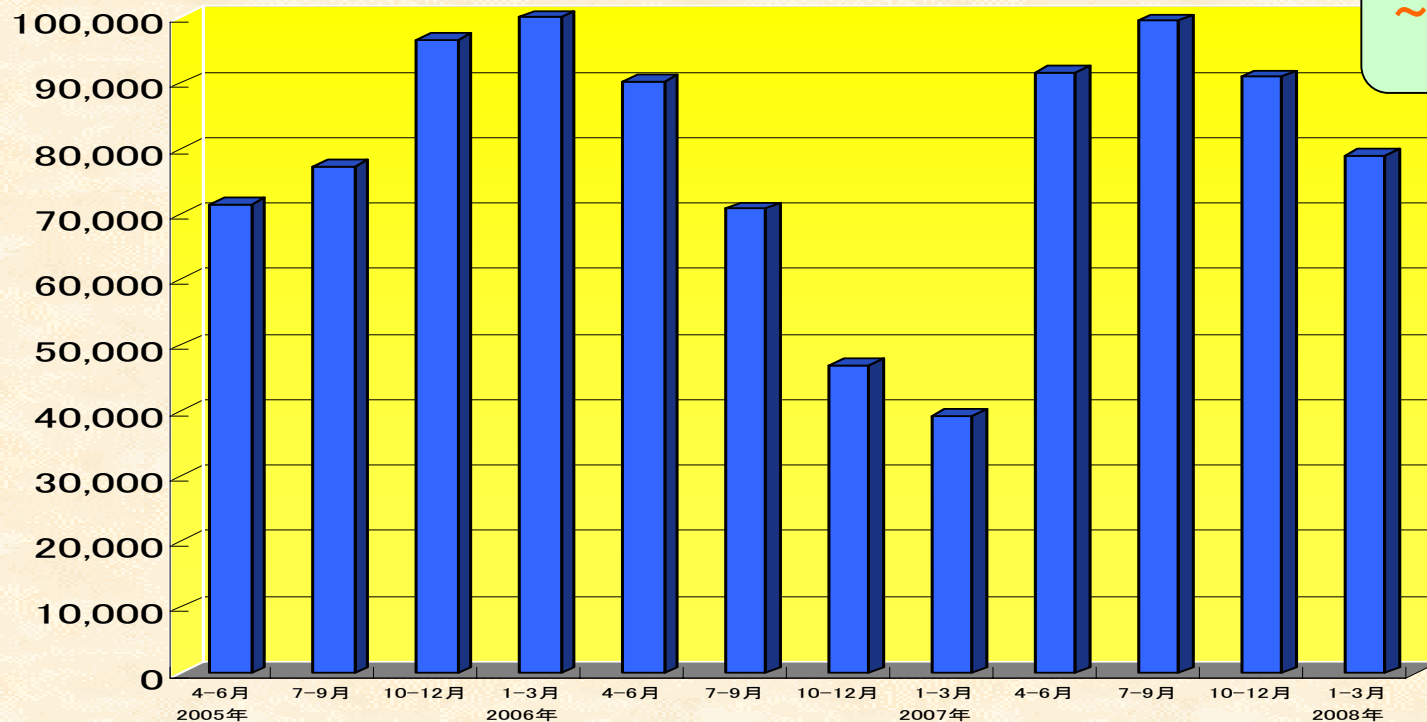
電子部品事業

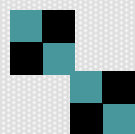
(単位:千個)

	2005年 4-6月	7-9月	10-12月	2006年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2007年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2008年 1-3月
Mo Cup(組立品含む)	71,500	77,300	96,600	102,700	90,200	70,800	46,900	39,200	91,600	99,508	91,000	79,000

2005年4月～2007年9月 実績値

2007年10月
～2008年3月
予測値





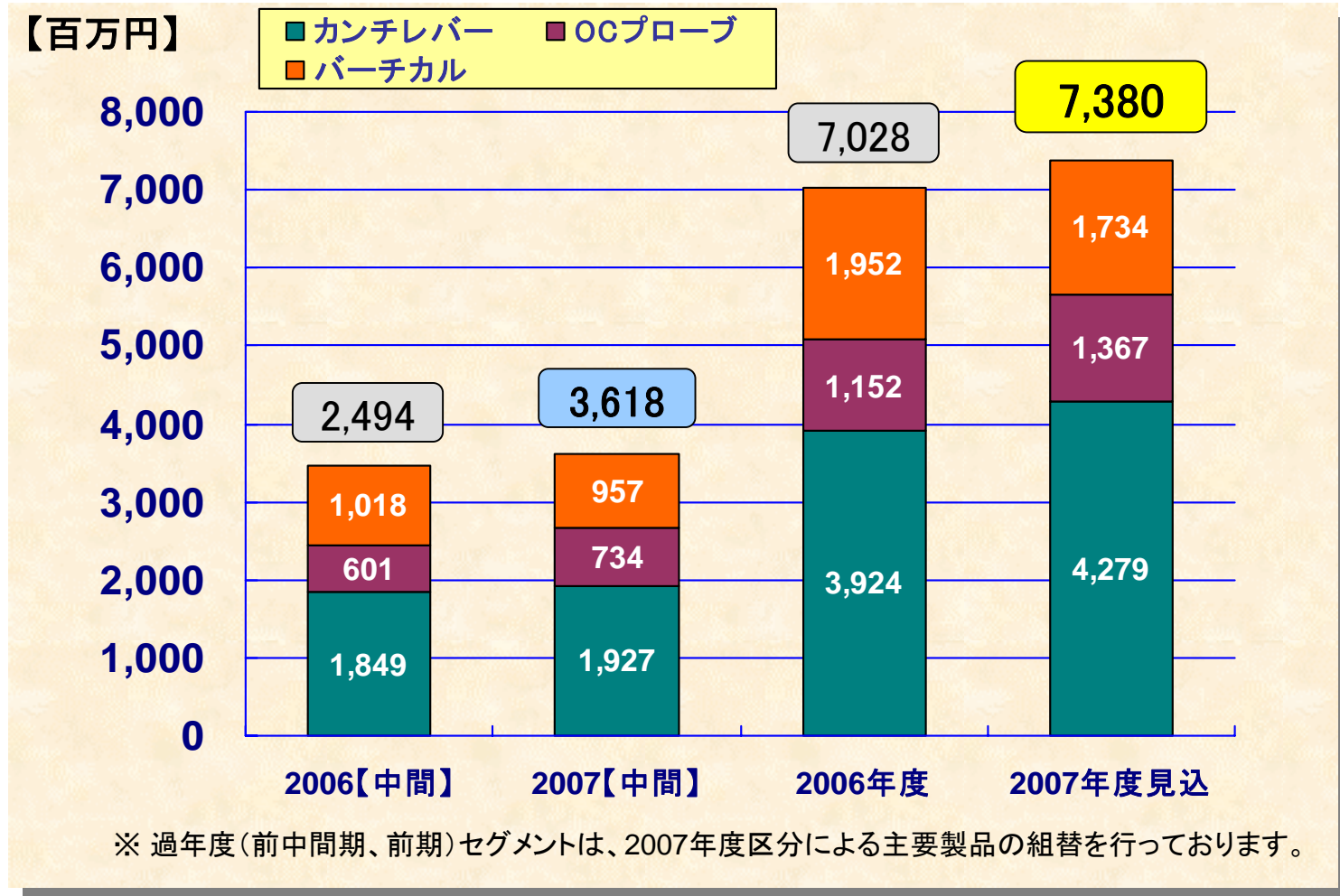
2007年度 中間決算報告 プローブカード事業

Contents

1. 【連結】売上推移と2007年度見通し
2. 主要製品別状況
3. プローブカード事業分析

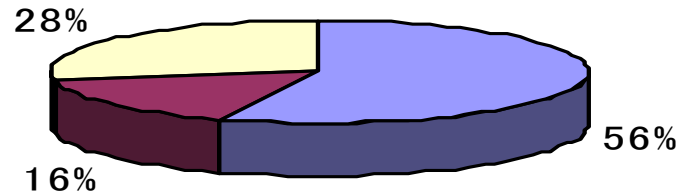
1. 【連結】売上推移と2007年度見通し

プローブカード事業

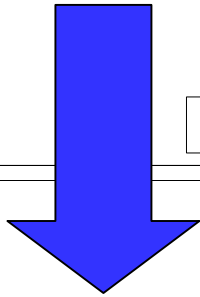


2. 主要製品別進捗状況①

2006年度 売上内訳

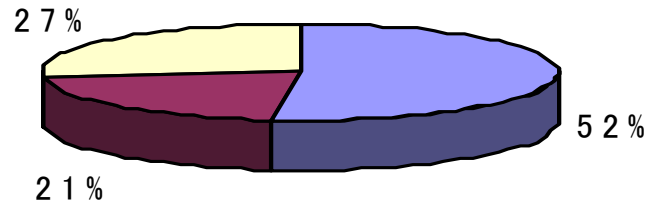


□ カンチレバー ■ OCプローブ □ バーチャル



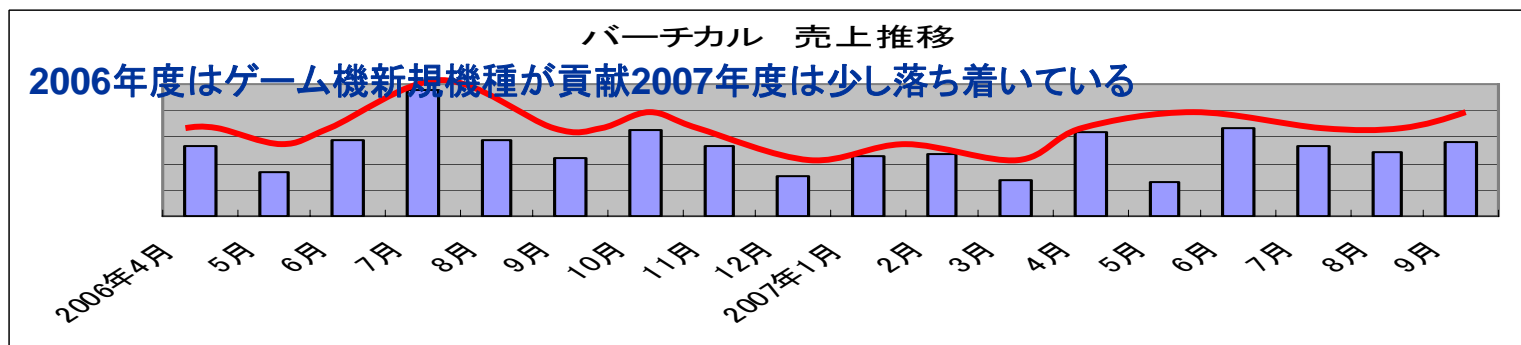
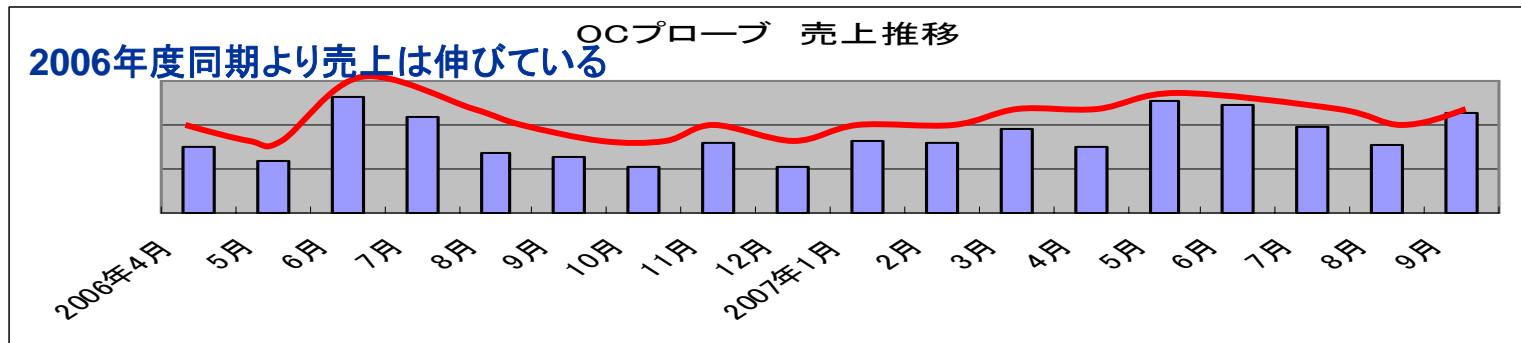
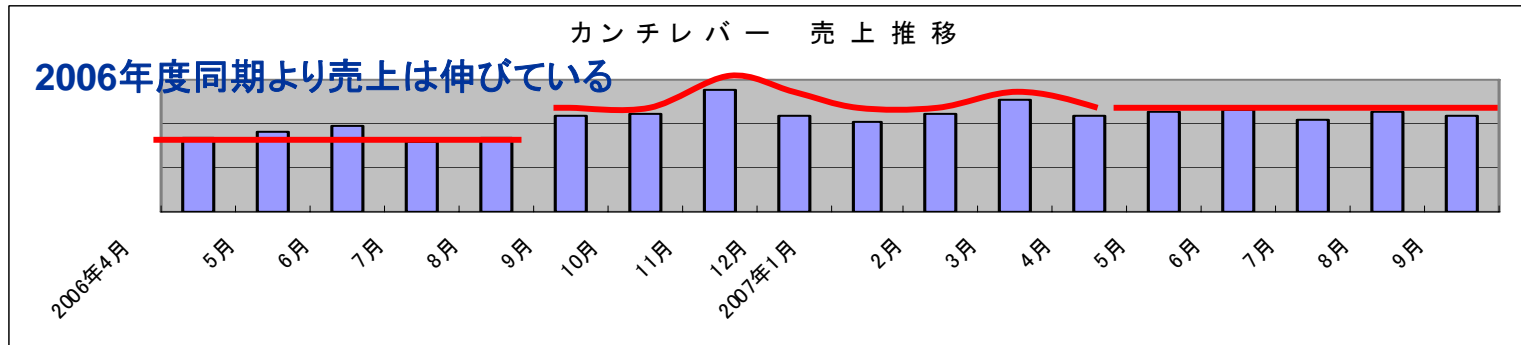
2007年度中間 売上内訳

LCDドライバーの
 好況でOCの
 比率が伸びた



□ カンチレバー ■ OCプローブ □ バーチャル

2. 主要製品別進捗状況②



3. プローブカード事業分析

— 2007年度 市場動向

(カンチレバー)

- * 受注・売り上げは順調。
- * LCDドライバーはOCプローブによりすべての国内LCDドライバーメーカーへ展開済み。4月から好調を維持しているが、ここにきて少し受注が落ちている。
- * ロジック向けカンチレバーは、多PINを中心に好調を持続。

(バーチカル)

- * ゲーム機の新機種がないため、おおきな受注はないが、昨年来リポート・オーダーが好調。

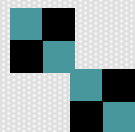
— 2007年度 下期の対応

(カンチレバー)

- * 大きな原価低減活動が来年初頭から結果が出てくる。更に他に展開予定。
- * アルミパッド用メンテナンスフリーのACプローブの量産開始。各社で高評価。

(バーチカル)

- * 狭ピッチ対応の針の開発が終了。来年に向けて量産開始。
- * 新規構造の更なる狭ピッチ対応の製品の開発を12月で完了予定。カンチからの置き換えの多PIN対応で、来年から顧客評価開始。



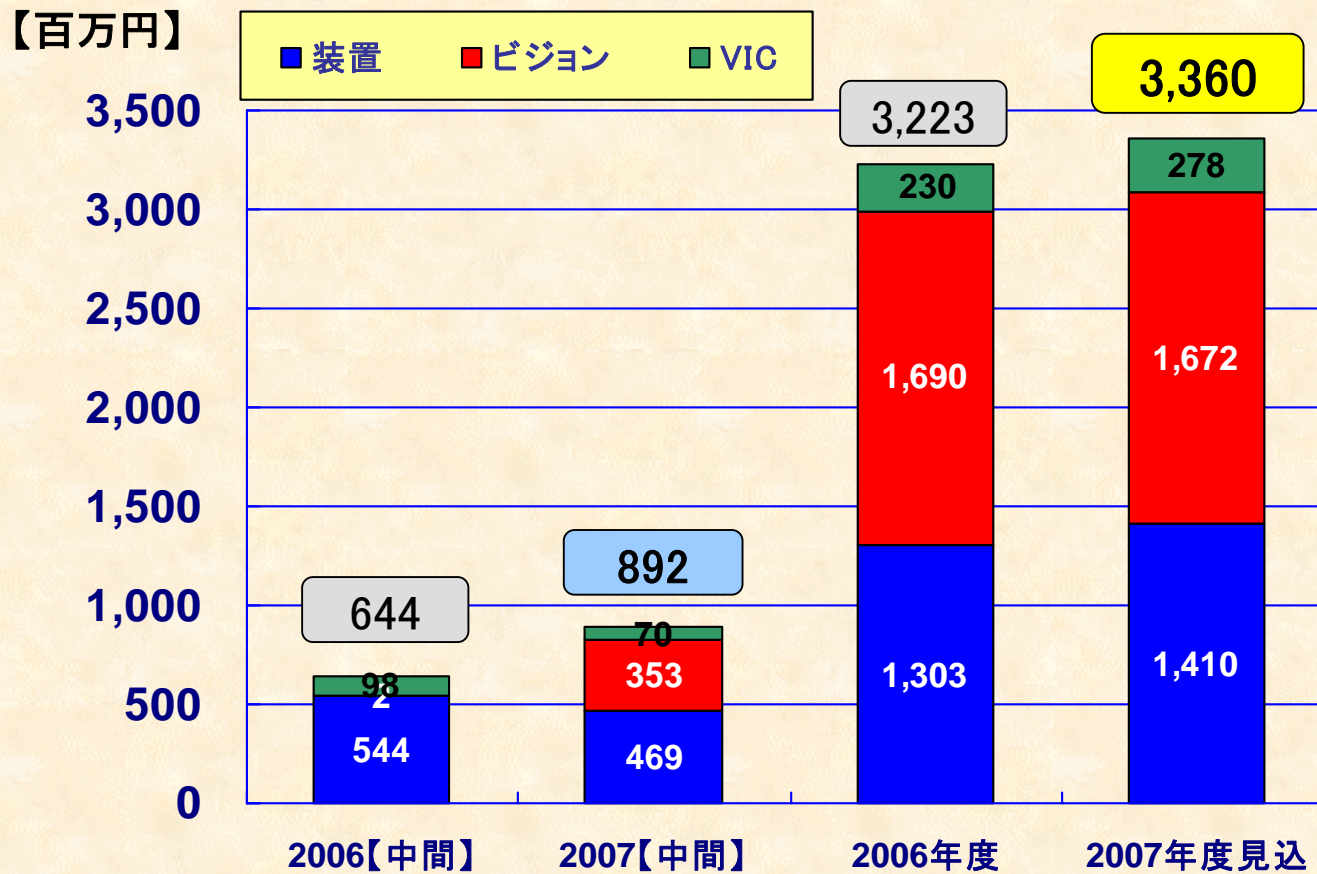
2007年度 中間決算報告 装置事業

Contents

1. 【連結】売上推移と2007年度見通し
2. 期初売上計画と通期見込み(個別)
3. 主要製品別進捗状況
4. 今後の課題と事業戦略

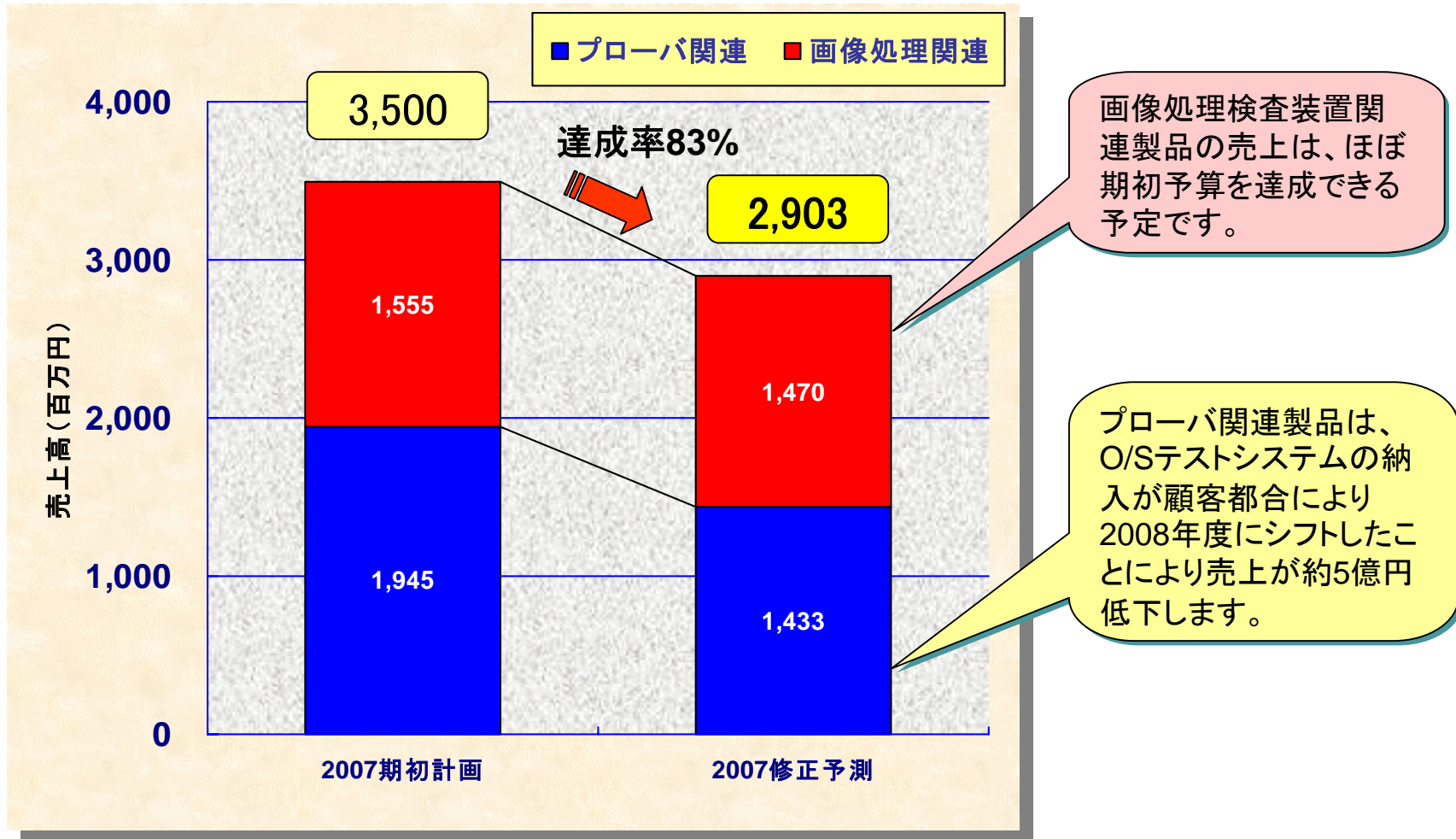
1. 【連結】売上推移と2007年度見通し

装置事業



※ 過年度(前中間期、前期)セグメントは、2007年度区分による主要製品の組替を行っております。

2. 期初売上計画と通期見込み(個別)



3. 主要製品別進捗状況

■ LDAS+(非接触Open/Shortテストシステム)

- 韓国LCDメーカーより複数台受注に成功し、現在追加商談中です。
- 台湾LCDメーカーより評価用として1台の受注に成功し、性能が評価された場合は、2008年度納入で量産ラインに導入予定です。
- 国内PDPメーカーより受注に成功しました。
- 当社独自の検査技術(特許申請中)の優位性と処理能力の高さにより、市場シェアを一気に拡大しつつあります。

■ Vision検査装置(画像処理)

- 光学フィルム検査装置の受注に成功し、計画通り事業が拡大しています。

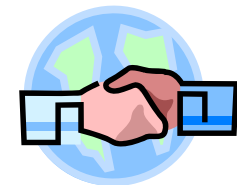
■ C30プローブ(セル検査用プローブ)

- 韓国子会社への生産、販売移管が完了し、新型MEMSプローブ(商品名:C30)の売上が拡大しております。(連結対象)

4. 今後の課題と戦略

- Open/Short検査システムの拡大
 - さらなる欠陥検出率の向上(様々なパネル仕様への対応性の拡大)
 - 大幅なコストダウンによる圧倒的な価格競争力の構築
 - 国内外における、高品質な顧客サポート(CS人員、組織の拡大)
- Vision検査システムの拡大
 - 各種光学フィルムメーカーへのビジネス拡大(2008年度売上拡大)
 - 中小型パネル(カーナビ、ゲーム、携帯電話)のセル点灯自動検査への拡大
- C30(セル検査用プローブ)
 - 2008年度における市場シェア10%をめざした、コストダウンおよび生産体制の整備を実施中。

ご清聴ありがとうございました。
今後も引き続き、ご支援よろしく願いたします。



本資料の取り扱い上の注意

本資料に含まれる本年度見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した数値であり、多分に不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況の変化等により、記載した予想数値と異なる場合がありますことをご了承ください。